国立大学法人大阪大学総長選考・監察会議委員の選出方法及び選出理由について

■教育研究評議会選出委員

１．選出した総長選考・監察会議委員（氏名五十音順）

石井　　優	大学院医学系研究科長
大槻　恒裕	大学院国際公共政策研究科長
近藤　　忠	大学院理学研究科長

２．選出方法

（１）教育研究評議会において、教育研究評議会規程第 2 条第 1 項第 4 号から第 11 号までの評議員（総長、理事及び副学長が兼ねる場合は除く。）を、戦略会議の構成をベースとした専門分野別にⅰ．人文学･社会科学系、ⅱ．理工情報系、ⅲ．医歯薬生命系の 3 つのグループに分け、グループ毎に 2 名の総長選考・監察会議委員候補者（以下「委員候補者」という。）を選出することとしている。

（２）任期満了となった評議員が在籍する各グループにおいて、別紙 1～3 のとおり委員候補者を選出した。

（３）教育研究評議会において、各グループにおける選出結果（委員候補者氏名、選出方法、選出理由）を確認し、それぞれから報告のあった委員候補者 3 名を総長選考・監察会議委員として決定した。

３．選出理由

別紙 1～3 のとおり

別紙１

【人文学・社会科学系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者

大槻　恒裕　　大学院国際公共政策研究科長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

①　透明性及び公正性を確保した会議運営や、利益相反の防止や政治的中立性の確保が求められており、こうした要請に応え得る人物を選考すること。

②　専門分野に係るバランスに配慮するため、人文学・社会科学系グループを、人文学系グループと社会科学系グループの２つの小グループに分け、今回は社会科学系グループの委員の任期満了に伴う委員候補者の選出であることから、同グループから１名の委員候補者を選出すること。

③　社会科学系グループにおいて選出方法の検討を行った上で委員候補者を選出し、人文学・社会科学系グループ全体に報告すること。

④　透明性・公正性の担保のため、社会科学系グループから報告された候補者について、人文学・社会科学系グループ全体で審議のうえ、最終的な候補者として選出すること。

引き続き、社会科学系グループのメンバーが別室に移り、選出のための議論を行った結果、大槻大学院国際公共政策研究科長が委員候補者として選出された。

その後、人文学・社会科学系グループ全体での審議を再開し、選出結果及び選出理由の報告を行い、審議の結果、全会一致でこれを承認した。

３．選出理由

上記２．①の条件を満たす総長選考・監察会議の委員候補者として、これまでの評議員としての経験や知見を考慮のうえ、上記２．②から④の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和７年５月１日（木）

別紙２

【理工情報系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者

近藤　　忠　　大学院理学研究科長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

①　委員候補者に相応しい人物として、高い倫理観と見識を備え、全体の意見を広く伺い、公平な立場で職務を全うできる者を選出すること。

②　次の各種バランスに配慮するものとし、いずれを重視するかは各自が判断すること。

・キャンパス所在地（吹田地区・豊中地区）の別

・研究科と研究所・センターの別

③　委員候補者は投票により決するものとすること。

その後、投票を行い、得票最多数の者として近藤大学院理学研究科長が選出された。

３．選出理由

総長の選考や監察など重要な職務を担う総長選考・監察会議の委員候補者として、高い倫理観と見識を備え、全体の意見を広く伺い、公平な立場で職務を全うできる者を選ぶことを出席者全員で確認し、上記２．の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和７年５月２日（金）

別紙３

【医歯薬生命系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者

石井　　優　　大学院医学系研究科長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

① 委員候補者の選出においては、公正性、透明性を最重要視して選考を行うことを確認した。

② 委員候補者に相応しい人物として、専門分野や部局の規模、研究科・研究所・附属病院といった異なる設置形態による部局の特性の違い等を広く俯瞰的に見渡し、公平な立場で大阪大学の発展に貢献できる者を選出すること。

③ 委員候補者は投票により決するものとすること。

その後、投票を行い、得票最多数の者として石井大学院医学系研究科長が選出された。

３．選出理由

上記２．②の条件を満たす総長選考・監察会議の委員候補者として、上記２．③の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和７年５月２日（金）

国立大学法人大阪大学総長選考・監察会議委員の選出方法及び選出理由について

■教育研究評議会選出委員

１．選出した総長選考・監察会議委員（氏名五十音順）

近藤　　忠	大学院理学研究科長
原　　隆浩	大学院情報科学研究科長
深川　竜郎	大学院生命機能研究科長
山上　浩嗣	文学部長

２．選出方法

（１）教育研究評議会において、教育研究評議会規程第２条第１項第５号から第１２号までの評議員（総長、理事及び副学長が兼ねる場合は除く。）を、戦略会議の構成をベースとした専門分野別にⅰ．人文学･社会科学系、ⅱ．理工情報系、ⅲ．医歯薬生命系の３つのグループに分け、グループ毎に２名の総長選考・監察会議委員候補者（以下「委員候補者」という。）を選出することとしている。

（２）任期満了となった評議員が在籍する各グループにおいて、別紙１～３のとおり委員候補者を選出した。

（３）教育研究評議会において、各グループにおける選出結果（委員候補者氏名、選出方法、選出理由）を確認し、それぞれから報告のあった委員候補者４名を総長選考・監察会議委員として決定した。

３．選出理由

別紙１～３のとおり

【人文学・社会科学系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者

山上　浩嗣　　文学部長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

①　透明性及び公正性を確保した会議運営や、利益相反の防止や政治的中立性の確保が求められており、こうした要請に応え得る人物を選考すること。

②　専門分野に係るバランスに配慮するため、人文学・社会科学系グループを、人文学系グループと社会科学系グループの２つの小グループに分け、今回は人文学系グループの委員の任期満了に伴う委員候補者の選出であることから、同グループから１名の委員候補者を選出すること。

③　人文学系グループにおいて選出方法の検討を行った上で委員候補者を選出し、人文学・社会科学系グループ全体に報告すること。

④　透明性・公正性の担保のため、人文学系グループから報告された候補者について、人文学・社会科学系グループ全体で審議のうえ、最終的な候補者として選出すること。

人文学系グループのメンバーが別室に移り、選出方法について協議した結果、同グループのメンバーによる投票により委員候補者を決定することとした。続いて、投票を行い、得票最多数の者として山上文学部長が選出された。

その後、人文学・社会科学系グループ全体での審議を再開し、選出結果及び選出理由の報告を行い、審議の結果、全会一致でこれを承認した。

３．選出理由

上記２．①の条件を満たす総長選考・監察会議の委員候補者として、これまでの評議員としての経験や知見を考慮のうえ、上記２．②から④の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和８年４月１５日（水）

【理工情報系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者

近藤　　忠　　大学院理学研究科長

原　　隆浩　　大学院情報科学研究科長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

①　委員候補者に相応しい人物として、高い倫理観と見識を備え、全体の意見を広く伺い、公平な立場で職務を全うできる者を選出すること。

②　①を最優先としつつ、次の各種バランスにも配慮するものとし、いずれを重視するかは各自が判断すること。

・キャンパス所在地（吹田地区・豊中地区）の別

・研究科と研究所・センターの別

③　候補者は投票により決するものとし、また各種バランスに配慮することができるよう、まず１名を決定し、その人物を見た上で次の投票を実施し、もう１名を決定すること。

その後、１回目の投票を行い、得票最多数の者として近藤大学院理学研究科長が選出された。引き続き、２回目の投票を行い、得票最多数の者として原大学院情報科学研究科長が選出された。

３．選出理由

総長の選考や監察など重要な職務を担う総長選考・監察会議の委員候補者として、高い倫理観と見識を備え、全体の意見を広く伺い、公平な立場で職務を全うできる者を選ぶことを出席者全員で確認し、上記２．の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和８年４月１５日（水）

別紙３

【医歯薬生命系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者

深川　竜郎　　大学院生命機能研究科長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

① 委員候補者の選出においては、公正性、透明性を最重要視して選考を行うことを確認した。

② 委員候補者に相応しい人物として、専門分野や部局の規模、研究科・研究所・附属病院といった異なる設置形態による部局の特性の違い等を広く俯瞰的に見渡し、公平な立場で大阪大学の発展に貢献できる者を選出すること。

③ 委員候補者は投票により決するものとすること。

その後、投票を行い、得票最多数の者として深川大学院生命機能研究科長が選出された。

３．選出理由

上記２．②の条件を満たす総長選考・監察会議の委員候補者として、上記２．③の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和８年４月１５日（水）